

令和元年度 学校自己評価表(最終)

岩美町立岩美南小学校

教育方針

- ◆磨こう自分(個別の知識・技能の向上)
自分の力を信じ、学習や運動、生活など、基礎・基本をしっかり身に付けている子ども
・基礎的、基本的な知識・技能
・凡事徹底(あいさつ、返事、くつろえ、もくもくそうじ)
・語彙力、読書活動
・健康、体力づくり
- ◆仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上)
友達と力を合わせ、学習したことを使って、主体的・対話的で深い学びをする子ども
・自分で考え、表現する
・学び合い
・学校が楽しいと感じられる学級・学習集団
・縦割り班を活用した主体的活動
- ◆未来に向かって(学びに向かう力・人間性等の育成)
学習したことを社会と結び付けたり、社会に生かそうとする子ども
・地域の「ヒト・モノ・コト」とのつながりを重視した体験活動
・持続可能なコミュニティをイメージできる児童づくりに努め、ふるさとを誇りに思う心情を育てる。
・カリキュラムマネジメントの視点を活用して教育活動を捉え直し、共通の目的をもつことのできる充実を図る。(ESD)
・新学習指導要領の実施に向けた教育内容の改善

教育活動の重点

- ◆磨こう自分(個別の知識・技能の向上)
・南小版「学習ルール」(聞く、話す、書く)及び学習規律の定着を図る。
・計画的な家庭学習と予習を生かす授業づくりに努める。(生活ノート、図・意味調べ、算：視写、社・理・音読)
・学年に応じた自主学習の推進(関連し問題と自主学習)
・「もくもく掃除」の充実を図る。
・学習のUD化を意識し、わかりやすい授業づくりに努める。(教室環境、ICT、板書、授業の流れ、今ここ等)
・各種学力テストやアンケート等の数値を具体的な指標とし、学力向上のための取組の改善に生かす。
・少人数指導、個別指導の充実(習熟度別指導)
- ◆仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上)
・算数科の予習を行うことで、適用問題を解くこと中心の学習展開に努める。
・タブレット端末やパソコンを活用した学習展開に努める。(プログラミング的思考)
・学級会を充実させ、合意形成力の育成に努める。
- ◆未来に向かって(学びに向かう力・人間性等の育成)
・8時間～10時間未満の睡眠時間の確保に努める。(スクラム教育)
・地域社会とのつながりを意識した学習展開や学校行事に努める。(社会科、総合的な学習の時間を中心に、米、梨、野菜、歌など)
・プログラミング教育について研修し、プログラミング的思考を取り入れた授業実践に努める。(算数、理科を中心に)
・カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れた教育活動に努める。(ESD)
・外部講師による校内研修や授業研究会(1年1回以上)、研究会参加等により、授業力向上を図る。
・コミュニティ・スクールについての校内研修に努める。

教育活動の重点	めざす児童像	重点目標	努力事項・具体的方策	到達目標	評価基準	評価(A:80%以上 B:79～60% C:59～40% D:39%以下)						総合評価	成果と課題	来年度に向けての改善策		
						児童		保護者		教職員						
						アンケート項目	割合 評価	アンケート項目	割合 評価	アンケート項目	割合 評価					
磨こう自分(個別の知識・技能の向上)	学習ルールの定着	南小版「学習ルール」を活用し、保・小・中の連携を図りながら、学年に応じた学習規律の定着を図る。	友達や先生の話を最後まで聞くことができる。	話を最後まで聞くことができる。(児・保・教80%)	友達や先生の話を最後まで聞くことができた。	88	A	お子さまは、話す人を見て最後まで話を聴いている。(聴き名人)	71	B	児童は、話す人を見て最後まで話を聴いている。(聴き名人)	71	B	・4月から話をする人を見ることを継続して続けている。(5年) ・意識づけはできてきたが、長い時間聞き続けることは難しい。(3、4年) ・話し手も伝えたいことをわかりやすく話すよう心がけている。(4年) ・聞き手が話したいと思う内容を話していると、よく聞くことができる。(1年) ・姿勢の維持ができないが、意識はできているので、声かけをするとよくなる。(1年) ・話す前にいくつ話すかを伝えてから話す。(2年)	聞き方は最後まで難しいが、意識づけを継続する。	
						94	A		70	B		77	B			
						63	B		77	B		53	C			
						65	B		70	B		45	C			
						76	B		50	C		92	A			
						87	A		48	C		100	A			
	家庭学習の充実	町での取り組みを実践し、家庭学習の充実を図る。	計画的に家庭学習をやり、学年に応じた自主学習をすることができる。	計画的に家庭学習をやり、学年に応じた自主学習をすることができる。(児・保・教80%)	家庭学習の時間を守って、学習することができた。	自分の苦手な克服のための自主学習をすることができた。	78	B	お子さまは、家庭学習の内容に応じて、いつ、どのように行うかを計画的に考えて行っている。	61	B	学校は、児童に計画的(いつ、どのよう)に家庭学習に取り組むよう指導した。	82	A	・集会等で見られている意識があるときはできるが、教室では続かない。丸椅子の時は特によくない。声かけをすることができるが常に指導しているわけにはいかない。(6年) ・3年生にとっては、この項目自体が難しいのではないかと。(3年) ・体の動きを止められない子どもが多いので、あいさつは全員が静止してからするようにしている。話す前に「ビタピントン」を唱えてから話すようにしている。(4年)	聞き方は最後まで難しいが、意識づけを継続する。評価場面を絞る等、項目自体を考えていく必要がある。
							75	B		56	C		90	A		
							80	A					85	A		
							82	A					100	A		
							86	A					63	B		
							81	A					17	C		
基本的な生活習慣の定着	「もくもく掃除」の充実を図る。	マニュアルにしたがって、黙って掃除場所をきれいに行うことができる。	マニュアルにしたがって、黙って掃除場所をきれいに行うことができる。(児・教80%)	そうじ時間は、正しいそうじの仕方でそうじをすることができた。		80	A	児童は、そうじ時間、マニュアルにしたがって黙って掃除場所をきれいにしている。	85	A	児童は、朝、学校で、自分から進んで「ストップあいさつ」を3人以上の人に行うことができる。(児・教80%)	59	C	・高学年になるにつれてストップができていないように感じる。しかし、子どもはできてはいる。 ・ストップしてあいさつすること自体が難しいのではないかと。 ・目が合ってもあいさつを待っている児童が多い。	・高学年になるにつれてストップができていないように感じる。しかし、子どもはできてはいる。 ・ストップしてあいさつすること自体が難しいのではないかと。 ・目が合ってもあいさつを待っている児童が多い。	
						82	A					100	A			
						86	A					63	B			
						81	A					17	C			
学習のUD化	わかりやすい授業づくりに努める。	学習の流れを意識して学習に取り組むことができる。(今ここ)	学習の流れを意識して学習に取り組むことができる。(児・教80%)	学習の流れを意識して、学習に取り組むことができた。		88	A	児童は、単元や1単位時間の見通しをもって学習に取り組んでいる。	59	C	どの学年もおおむね1単位時間の見通しをもって学習できている。 ・毎時間「めあて」「みんなで」「ひとりで」「まとめ」「ふりかえり」を提示している。パターンが定着した。(1年) ・番号を書いて、その時間に行うことがわかるようにしている。(そよかぜ)	継続していく。				
						94	A		100	A						

仲間と共に (思考力・判断力・表現力等の向上)	『仲間とともに』 友達と力を合わせ、学習したことを使って、主体的・対話的で深い学びをする子ども ○自分で考え、表現する ○信頼、感謝 ○学び合い	主体的な活動	学習課題の解決に向けて主体的に取り組めるように努める。	算数科の予習を行うことで、意欲的に学習に取り組むことができる。	算数科の予習を行うことで、意欲的に学習に取り組むことができる。(児・教80%)	算数の予習(次の日の問題を書く)を毎日することができた。	63 B				児童は、算数科の予習を行うことで、意欲的に学習に取り組んでいる。	71 B	B	・問題を視写するだけでなく、解き方を見てくる子どももいる。⇒見ることによって子どもに安心感があり、発展等への意欲が高まっている。(6年) ・学習の見通しが持てている子どもが増えた。また、パターンかできてきた。(4年) ・前時に予告し、家庭学習で視写してきている。解き方までは見てくる児童は少ないが、学習の見通しが持てている。 ・授業のタイムマネジメントにも効果があった。	・継続していく。		
		ICTを活用した授業づくり	タブレット端末やパソコンを用いた学習展開の努める。	タブレット端末やパソコンを活用した学習に取り組むことができる。	タブレット端末やパソコンを活用した学習を行っている。(児・教80%)	ipadやパソコンを使った学習は楽しい。	90 A	先生は、パソコンやタブレットなどICTを活用した授業づくりに努めている。	88 A	PCやタブレットを活用した学習を積極的に取り入れている。	67 C	94 A				A	・参観日で活用しなければ、保護者は評価しにくい項目ではないか。 ・今後(1人1台)を考えると、参観日等で意識して保護者に公開していく必要がある。また、便利等を活用してアピールしていく必要がある。そのため、項目は残す。
		学び合い	理由や根拠を重視した学習展開に努める。	話を意識して、理由や根拠を明確にした発表ができる。	話を意識して、理由や根拠を明確にした発表ができる。(児・教80%)	学習中、理由をつけて発表することができた。	72 B				児童は、話を意識し、理由や根拠を明確にして発表している。	53 C	B	・子どもの言った言葉をキーワードとして定着やつなぎ言葉の利用の促進を図っている。(1年) ・教師が「どうして？」と聞くことで、理由を話せるようになった子どもが増えてきた。(3年) ・スピーチに条件(3文で話すなど)を付けることで、長文を話せるようになってきた。また、子どもの発表中に「わけは」「理由は」と言っていると話せるようになった。(4年) ・子ども同士の話合いでは理由を話せるようになってきた。(6年)	・継続していく。		
						分からないことがあっても、友達の見聞を聞いてたり考えたりして自分の考えを持つことができた。	87 A				77 B						
		未来に向かって (学びに向かう力・人間性等の育成)	『未来に向かって』 学習したことを社会と結び付け、社会に生かそうとする子ども ○夢、志、郷土愛 ○高い目標	保小中高のつながりを意識した岩美町スクラム教育の推進	早寝の習慣を身につけ、睡眠時間の確保に努める。	8時間～10時間未満の睡眠時間を確保することができる。	8時間～10時間未満の睡眠時間を確保することができる。(児・教80%)	睡眠時間(8時間～10時間)を守ることができた。	85 A	お父さまは、睡眠時間(8時間～10時間)を確保できている。	63 B	児童は、睡眠時間(8時間～10時間)を確保できている。	58 C	B	【睡眠時間】 ・保護者に対する設問を変えたことで、保護者の肯定的な回答が増えた。 【メディアの時間】 ・親の見ているところでは約束通りだが、見ていないところでたくさんしている。	・継続していく。 メディア接触2時間の根拠は⇒日本小児科医会の提言から	
								ネットやテレビ、ゲームの時間を守ることができた。(1日2時間まで)	73 B	お父さまは、ネットやテレビ・ゲームを1日2時間以内を守って生活している。	64 B	児童は、ネットやテレビ・ゲーム等の1日2時間以内を守っている。	67 B				50 C
								チャレンジデーを守ることができた。	85 A	私は、チャレンジデーの取り組みに努めている。	75 B	児童は、チャレンジデーを守っている。	93 A	100 A			
								自分が住んでいる地域は、好きだ。	92 A	お父さまは、地域の行事に進んで参加している。	78 B	児童は、自分が住んでいる地域が好きである。	100 A	100 A	A	・自分たちの地域に自信を持っている。出かけることで新しい発見があり、より好きになっている。	・継続していく。
									93 A		80 A						
																A	・音楽づくりで活用をした。メリットがあったが、環境を整えることが難しいと感じた。 ・意識してipadやPCを活用した授業づくりができた。
													42 C	85 A			